

「学校現場における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（仮称）」に盛り込むべき項目の整理と構成案について

1. 盛り込むべき項目

既存の熱中症対策マニュアル等の調査、暑さ指数（WBGT）の活用状況及び事故の教訓等を踏まえ、手引き（案）に盛り込むべき項目を整理した。表1に盛り込むべき項目（案）を示す。今後、ヒアリング結果も考慮し、最終的な項目を決定する。

表1 盛り込むべき項目(案)

<本論で扱う項目>

大項目	小項目	内容
未然防止に向けた取組	熱中症の概要	・熱中症の起こり方、熱中症を引き起こす条件 ・熱中症の症状・重症度分類と対応
	暑さ指数について	・暑さ指数の概要、計測場所・計測のタイミングの解説及び記録簿の紹介
	暑さ指数に応じた指針	・暑さ指数に応じた予防指針、運動・活動指針
	暑さ指数に応じた対策	・事前情報による判断・準備 ・当日の情報による判断・準備 ・臨時休業、短縮授業の判断
	体育、スポーツ活動時の熱中症対策	・環境条件の把握、暑熱順化、水分・塩分補給、服装・装具の配慮、個人の状態や体調の考慮、運動量の調整、健康チェックシートの例示 ・プール学習時の熱中症対策
	体育、スポーツ活動時以外の熱中症対策	・登下校時の熱中症対策 ・遠足・校外学習時の熱中症対策 等
	熱中症警戒アラートについて	・熱中症警戒アラートの説明、入手方法、アラートの活用事例
	新型コロナウイルス感染症に係る熱中症対策	・「新しい生活様式」における熱中症対策のポイント
	熱中症による事故事例	・事故事例の概要(事故時の気象状況、発症時の活動状況等)、課題、再発防止策等
発生時の対応	応急処置フロー	・応急処置フロー、具体的な応急処置、熱中症チェックシートの紹介
	緊急時の連絡体制	・校内、保護者及び関係機関への連絡体制 ・報道機関への対応
情報収集	熱中症の理解を深めるための文献やホームページの紹介	—

<コラムとして扱う情報>

- ・既存の指針に従い、活動を中止もしくは延期したことで熱中症を予防した体験談
- ・熱中症発症時の身体冷却方法 等

2. 構成案

上述の盛り込むべき項目(案)を踏まえた手引きの構成案を表2に示す。今後実施するヒアリング

を踏まえ、構成を決定する予定である。

表2 構成案

項目	概要
1. はじめに	○手引き作成の背景/○手引きについて/○全体の構成図
2. 熱中症とは	○熱中症の基礎知識について解説 ・死に至る可能性のある病態である。 ・熱中症の症状や重病度分類 ・適切な予防策、応急措置により、発症や重症化を回避できる。
3. 暑さ指数について	○暑さ指数の解説と具体的対応 ・環境条件の指標としての暑さ指数(WBGT)の解説 ・暑さ指数に応じた行動指針(日本生気象学会、日本スポーツ協会) ・暑さ指数に応じた(行事や体育の実施についての)学校の運動・活動方針 －暑さ指数の測定タイミングや頻度 －暑さ指数計の設置場所 －体育や行事の中止・延期や内容の変更を、誰が、どのタイミングで、どのように判断し、それをどう伝達するか
4. 熱中症警戒アラートについて	○熱中症警戒アラートと発表時の対応の解説 ・アラートの説明 －アラートは熱中症の危険性に対する「気づき」を促すものであり、即運動中止というわけではない。現場での暑さ指数測定・判断が重要。 ・アラートが発表された時の学校の対応について －アラートの入手方法 －学校におけるアラートの活用事例の紹介
5. 熱中症の予防措置	○各状況に応じた予防措置を整理 ・体育、スポーツ活動(特に運動部活動)時の具体的対策 －グラウンド等の屋外での活動 －体育館等の屋内での活動 －プールでの活動 ・体育、スポーツ活動時以外の具体的対策 －全校集会、避難訓練等 －遠足、校外学習等 －休憩時間を含む屋外の活動 －教室内の授業 －登下校時 ・「新しい生活様式」における熱中症対策のポイント
6. 熱中症発生時の対応	○応急措置を整理 ・熱中症の応急処置(フロー図等) ・緊急時連絡先一覧
7. 熱中症による事故事例	○学校での死亡事例や熱中症・熱中症疑いによる救急搬送事例を紹介 ○事故後の対応
8. 参考情報一覧	○既存のマニュアル等の参考情報を紹介